



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月24日

上場取引所 東

上場会社名 アツギ株式会社
 コード番号 3529 URL <http://www.atsugi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月4日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 工藤 洋志
 (氏名) 岡田 武浩

TEL 046-235-8107

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	11,520	2.5	122	△46.0	412	△4.6	326	37.4
26年3月期第2四半期	11,236	2.0	226	△50.2	432	31.2	237	65.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,251百万円 (36.3%) 26年3月期第2四半期 918百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	1.94	—
26年3月期第2四半期	1.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	55,648	47,110	84.4
26年3月期	54,618	46,390	84.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 46,987百万円 26年3月期 46,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,960	3.8	350	△22.5	800	△9.8	600	6.5	3.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	188,195,689 株	26年3月期	188,195,689 株
27年3月期2Q	19,628,398 株	26年3月期	19,399,744 株
27年3月期2Q	168,708,697 株	26年3月期2Q	168,848,779 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策などにより、一部では企業業績向上や雇用情勢の改善や所得水準の増加がみられるなど、景気回復の兆しが見られています。しかしながら、一方では消費税率引き上げによる消費マインドの減退懸念もあり、また、不安定な世界経済などの影響を受け、本格的な安定成長を実感するまでには至っておらず、引き続き先行き不透明な状況で推移しております。

繊維業界においては、消費動向の改善は見られず、円安の進行によるエネルギーや輸入コストの増加に加え、企業間競争の激化などにより依然として厳しい環境にあります。

このような状況において当社グループは、原料加工から最終製品までを一貫生産し販売する専門メーカーとしての特性を活かし、価格を上回る価値ある商品の企画開発と、グループ全社を挙げて効率性アップに取り組み、収益改善に努めておりますが、原材料高や中国における人件費高騰等のコスト増加など、厳しい経営環境が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,520百万円(前年同四半期比2.5%増)、営業利益は122百万円(前年同四半期比46.0%減)、経常利益は412百万円(前年同四半期比4.6%減)、四半期純利益は326百万円(前年同四半期比37.4%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

〔繊維事業〕

靴下部門はプレーンストックの主力ブランド「ASTIGU(アスティグ)」をはじめとするベーシック商品は引き続き順調に推移し、ファッション商品やソックスの伸び悩みなどもありましたが、同部門の売上高は9,710百万円(前年同四半期比4.1%増)となりました。

インナーウェア部門はスポーツインナー関連は順調に推移しましたが、全般的に厳しく、同部門の売上高は1,295百万円(前年同四半期比6.5%減)となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は11,005百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業損失は105百万円(前年同四半期は19百万円の利益)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業は保有資産の有効活用が進み、当事業の売上高は312百万円(前年同四半期比0.7%減)、営業利益は234百万円(前年同四半期比9.6%増)となりました。

〔その他〕

その他の事業につきましては、介護用品の市場環境の変化などにより、厳しい状況が続いております。当事業の売上高は202百万円(前年同四半期比2.2%減)、営業損失は6百万円(前年同四半期は7百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

当第2四半期連結会計期間末における総資産は55,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,030百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加663百万円、売上債権の増加353百万円等によるものであります。

負債の部は8,537百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債の増加281百万円、仕入債務の増加119百万円、および未払法人税等の減少128百万円等によるものであります。

純資産の部は47,110百万円となり、前連結会計年度末に比べ720百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益を326百万円計上しましたが、前期決算に係る配当金506百万円による減少や、その他の包括利益累計額の増加918百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は84.4%(前連結会計年度末は84.7%)となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 410 百万円、減価償却費 502 百万円等がありましたが、売上債権の増加 334 百万円、法人税等の支払い 233 百万円等により、差引 261 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により 189 百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、526 百万円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 300 百万円減少し、7,733 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、平成 26 年 5 月 9 日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成 26 年 10 月 21 日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,365	8,114
受取手形及び売掛金	3,692	4,046
商品及び製品	4,002	4,245
仕掛品	2,333	2,406
原材料及び貯蔵品	711	648
繰延税金資産	35	41
その他	863	896
貸倒引当金	△12	△16
流動資産合計	19,991	20,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,898	5,879
機械装置及び運搬具(純額)	3,198	3,158
土地	16,456	16,456
建設仮勘定	144	153
その他(純額)	163	163
有形固定資産合計	25,861	25,810
無形固定資産	417	408
投資その他の資産		
投資有価証券	7,574	8,238
繰延税金資産	0	0
その他	775	807
貸倒引当金	△2	△0
投資その他の資産合計	8,347	9,045
固定資産合計	34,626	35,265
資産合計	54,618	55,648

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,475	2,595
未払法人税等	319	191
賞与引当金	123	125
繰延税金負債	—	29
その他	1,053	1,127
流動負債合計	3,972	4,069
固定負債		
繰延税金負債	357	609
再評価に係る繰延税金負債	2,152	2,152
退職給付に係る負債	1,265	1,248
その他	480	458
固定負債合計	4,255	4,467
負債合計	8,227	8,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	9,397	9,397
利益剰余金	5,579	5,400
自己株式	△1,892	△1,917
株主資本合計	44,790	44,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,229	1,673
繰延ヘッジ損益	291	405
土地再評価差額金	△751	△751
為替換算調整勘定	713	1,073
その他の包括利益累計額合計	1,483	2,401
少数株主持分	116	122
純資産合計	46,390	47,110
負債純資産合計	54,618	55,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,236	11,520
売上原価	7,600	8,037
売上総利益	3,636	3,482
販売費及び一般管理費	3,410	3,360
営業利益	226	122
営業外収益		
受取利息及び配当金	93	105
持分法による投資利益	7	6
為替差益	126	186
その他	33	31
営業外収益合計	261	330
営業外費用		
減価償却費	7	6
租税公課	19	16
その他	28	17
営業外費用合計	55	40
経常利益	432	412
特別利益		
投資有価証券売却益	2	3
特別利益合計	2	3
特別損失		
固定資産除却損	7	1
投資有価証券売却損	—	3
特別損失合計	7	5
税金等調整前四半期純利益	427	410
法人税、住民税及び事業税	213	116
法人税等調整額	△21	△31
法人税等合計	191	85
少数株主損益調整前四半期純利益	235	324
少数株主損失(△)	△2	△1
四半期純利益	237	326

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	235	324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	348	444
繰延ヘッジ損益	75	113
為替換算調整勘定	241	342
持分法適用会社に対する持分相当額	17	25
その他の包括利益合計	682	926
四半期包括利益	918	1,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	914	1,244
少数株主に係る四半期包括利益	3	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	427	410
減価償却費	524	502
のれん償却額	16	16
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△17
受取利息及び受取配当金	△93	△105
持分法による投資損益(△は益)	△7	△6
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	0
有形固定資産除却損	7	1
売上債権の増減額(△は増加)	76	△334
たな卸資産の増減額(△は増加)	△758	△144
仕入債務の増減額(△は減少)	227	55
未払消費税等の増減額(△は減少)	△44	55
その他	△224	△44
小計	162	390
利息及び配当金の受取額	91	104
法人税等の支払額	△16	△233
法人税等の還付額	97	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	334	261
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△143	△186
定期預金の払戻による収入	143	159
有形固定資産の取得による支出	△231	△182
無形固定資産の取得による支出	△0	△3
投資有価証券の取得による支出	△148	△84
投資有価証券の売却による収入	73	107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△306	△189
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△499	△501
自己株式の増減額(△は増加)	△4	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△504	△526
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	154
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△392	△300
現金及び現金同等物の期首残高	7,545	8,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,152	7,733

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,714	314	11,029	207	11,236	-	11,236
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	1	-	1	△ 1	-
計	10,716	314	11,030	207	11,237	△ 1	11,236
セグメント利益又は損失(△)	19	213	233	△ 7	226	-	226

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入および販売であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	11,005	312	11,317	202	11,520	-	11,520
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	-	3	-	3	△ 3	-
計	11,008	312	11,321	202	11,524	△ 3	11,520
セグメント利益又は損失(△)	△ 105	234	128	△ 6	122	-	122

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入および販売であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。